



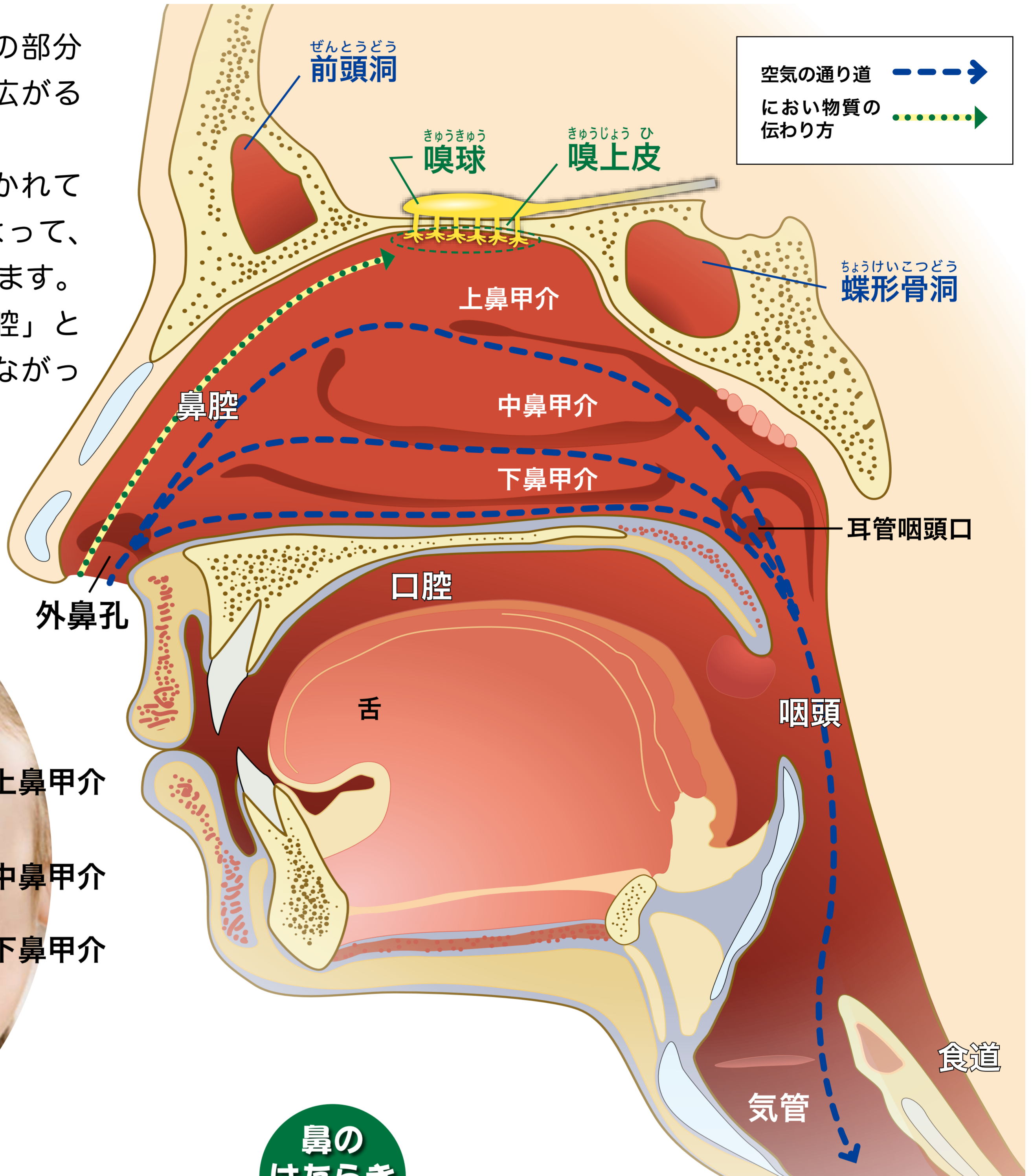
監修：笠井耳鼻咽喉科クリニック 自由が丘診療室 院長 笠井 創 先生

# 鼻のしくみとはたらき

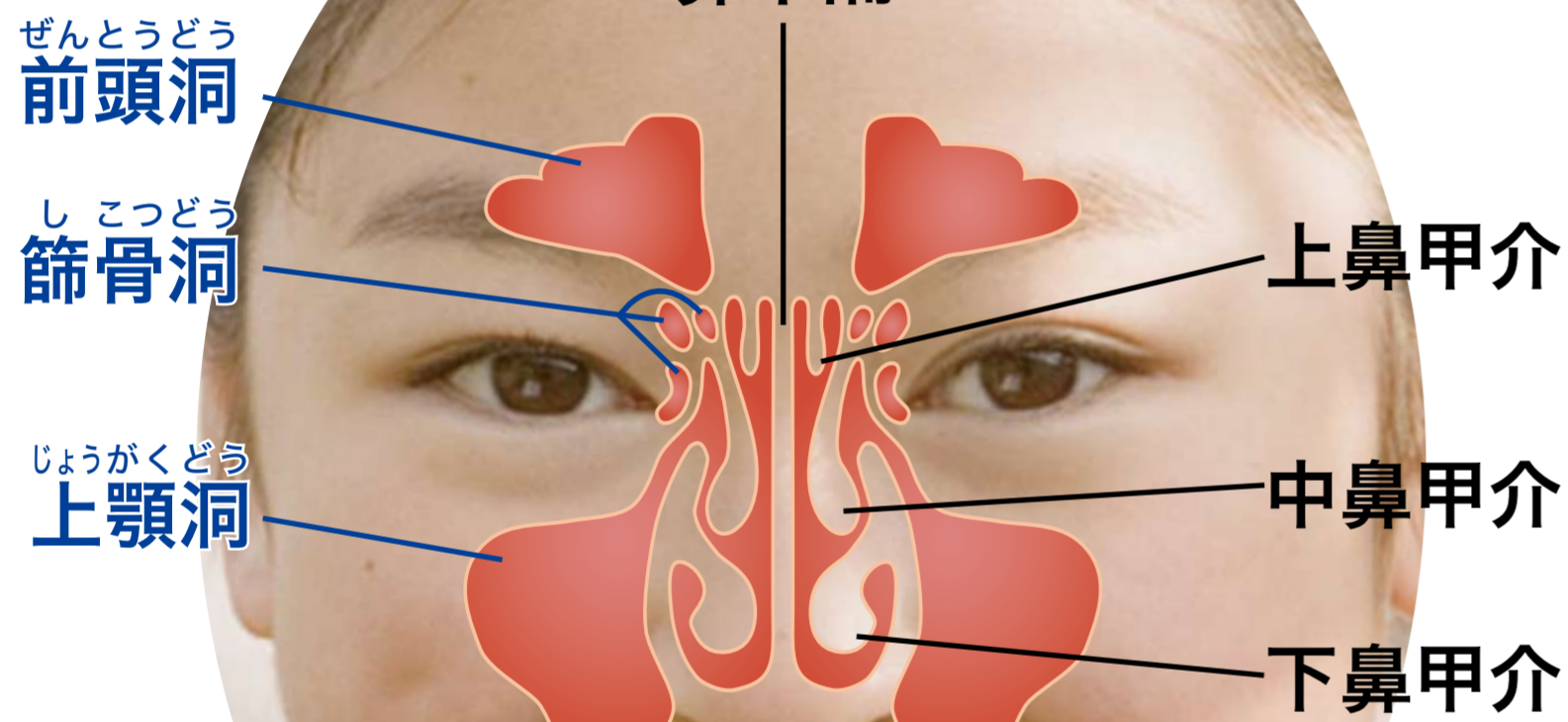
●顔の中央にある、外から見える鼻の部分を「外鼻」といい、外鼻孔から奥に広がる空間を「鼻腔」といいます。

●鼻腔は、鼻中隔によって左右に分かれています。また、鼻甲介というヒダによって、上鼻道、中鼻道、下鼻道に分かれています。

●鼻腔の周りの骨の内部には「副鼻腔」という空洞があり、それぞれ鼻腔とつながっています。



## 副鼻腔

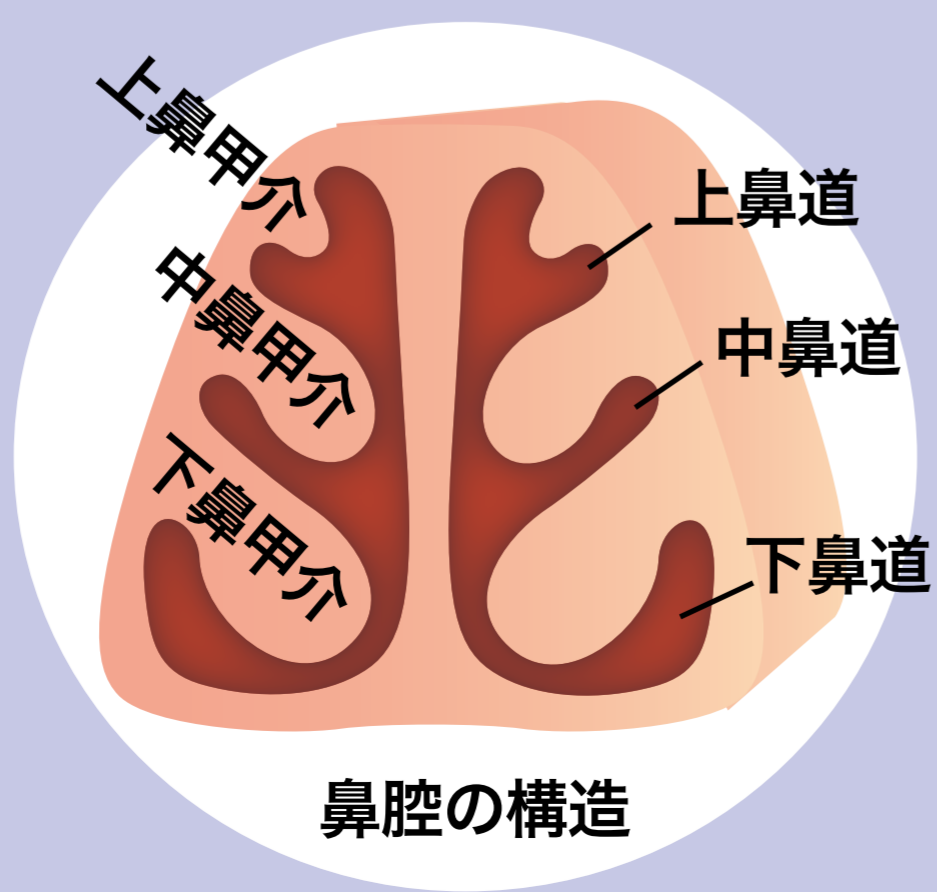


## 鼻のはたらき 1

### 空気の通り道

- 外鼻孔から空気を取り入れる
- 大きなゴミは、鼻毛で取りのぞかれる
- 鼻腔内は粘膜で覆われているので、肺に送られる空気は鼻腔内を通過する間に温められ、湿り気を与えられる。

3つのヒダがあることで、鼻腔内の表面積が広くなり、効率よく空気を加温加湿できます。



## 鼻のはたらき 2

### においを感じる

- においを感じる細胞は、鼻腔の天井側にある嗅上皮にある
- におい物質は、嗅上皮の表面を覆っている粘液に溶けて、嗅細胞を刺激する
- においの刺激が嗅細胞から嗅球へ伝わり、大脳へと送られる

嗅球は大脳の底面にあり、大脳とつながっています。嗅覚は、視覚や聴覚よりも古い原始的な感覚だといわれています。

